

区の評価及び意見について

【港区】 (受託者:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

1 地域活動協議会の状況についての分析(年度当初)

項目	受託者の分析に対する評価及び意見
「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」 (1)「地域課題への取組」についての分析	・区内の地域活動協議会等の情報交換や連携の促進、多様な地域活動との連携・協働、自主財源の獲得に向けた情報提供など、各地域の様々な取組に対して積極的な助言・指導の支援が行えている。また、地域課題解決の手法の一つとして、第三者の視点で解決策を図るプロボノを活用した取組事例を共有する機会を継続して設けることにより、プロボノ活用の有効性などについて地域に対する意識付けができています。 ・桜通りについても地域間の連携を図るための支援ができており、第2回目の桜まつりを開催することができた。しかしながら、維持管理にかかる経費の確保等、課題はなおも継続されることから、課題解決に向けた取組について、支援を継続すること。
(2)「つながりの拡充」についての分析	幅広い世代の住民の地域活動への参加・参画を促すための切っ掛けとなる場として、各種イベントへの模擬店参加などの機会を増やしていくよう、積極的な支援ができています。また、つながりの拡充に向け、新たな担い手が気軽に楽しく参加できるよう、受け入れ側の理解を深めるように助言・指導を続けている。これまでの成果を踏まえ、地域間で常に情報交換等が可能になるITツールの活用など、新たな支援策を検討すること。
(3)「組織運営」についての分析	開かれた組織運営と会計の透明性の確保に向け、活動に必要な事務処理を地域自身で行えるよう継続して助言指導を行っている。運営委員会及び役員会の開催支援や、より多くの人材に会計事務を理解してもらうため、地域で自主的に勉強会等が行えるよう、人材の育成や確保に向けた具体的な取組への支援を今後も継続すること。
(4)「区独自取組」についての分析 <small>(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)</small>	

2 事業の実施内容(支援策(取組)の内容)

項目	提案内容に対する評価及び意見
「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」 (1)「地域課題への取組」にかかる支援の提案内容	自主財源の獲得に向け、地域活動協議会が行政の委託事業を受託するため、各地域の実情に合わせた事業の紹介・提案を行い、事業を受託することによるリスクや労務・税務・法務など、仕組みについての助言・指導を行っており、各地域のニーズに合わせた的確なサポートが出来ている。
(2)「つながりの拡充」にかかる支援の提案内容	各地域のつながり、延いては港区全体のつながりの拡充を目指し、区民まつりを始めとする各種イベントへ模擬店参加することで、自主財源の確保、新たな担い手の発掘につながっている。引き続き、効果的な助言・指導を継続すること。
(3)「組織運営」にかかる支援の提案内容	実行委員会・各種部会等、議題の中身によって、各部会委員や担当者レベルで意見を集約し検討を重ねたうえで、運営委員会に諮るよう指導しており、それにより、事業にかかる意思決定プロセスが広く周知されることに繋がっている。また、会計担当者の負担軽減については、地域活動協議会の今後の運営を長期的な視点で捉え、できるだけ多くの人に会計事務に関わってもらえるよう、区と連携して積極的に助言・指導を行うこと。
(4)「区独自取組」にかかる支援の提案内容 <small>(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)</small>	

3 事業の実施体制等

項目	提案内容に対する評価及び意見
(1)自由提案による地域支援の提案内容 <small>(企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)</small>	自主財源の獲得に向けた取組として、行政の委託事業の受託や企業を含めた助成金申請、クラウドファンディングを活用した寄付金獲得方法など、様々な手法について、地域の実情に合わせ紹介・提案等を行い、地域が自発的に動けるような支援が出来ており、引き続き地域ニーズに合わせた的確な支援を行うこと。

(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容	シフトの関係や休日にある地域行事への対応等で、スタッフ全員が集まる機会が限られているが、曜日を決めた情報交換の場や、メール等の活用で、情報の共有ができていた。
(2-2)フォロワー(バックアップ)体制等にかかる提案内容	関係法令を遵守しながら、必要に応じてローテーションを組みかえるなど、柔軟な対応ができている。また、できるだけ日常的に情報を共有し、急を要する場合には担当地域以外の対応もスムーズに行えるよう今後も体制を確保すること。
(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容	区政会議・課の定例会・合同地域会長会などに参加し、積極的に情報収集に努めており、まちづくりセンター内に留まらず、区担当者との情報共有も図れている。今後も、区と認識を合わせ、地域への支援の充実に努めること。

## 4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)(5つ以内)

支援策(取組)名称	支援策(取組)に対する評価及び意見
プロボノなど外部の専門的な協力を軸に、地域課題を解決する	地域活動協議会の活動基盤強化につなげるため、プロボノなどを活用する事は効果的であり、そのメリットを認識してもらえよう、活用事例等を周知する機会を設けるなどし、今後も地域の自律運営について、より理解が深まるような支援を行うこと。
「つながりの拡充」にかかる支援	各地域をつながり、延いては港区全体のつながりの拡充を目指し、新たな担い手の発掘につながる各種イベントへの模擬店参加を初め、幅広い世代の住民に地域活動へ参加してもらおう切っ掛けとなる場を増やしていく等、効果的な支援ができている。
「地活協の組織運営」にかかる支援	各地域の実情に合わせた方法により、開かれた組織運営のあり方等について、適切に助言・指導を行うとともに、継続的な組織運営を意識し、会計事務を初めとした組織運営にかかる事務について、一部の担当者に負担がかかっている実情を踏まえ、地域で自主的に勉強会等が行えるよう、効果的な支援ができている。
「区と地域の連携による取組」にかかる支援	地域の防災訓練・地域防災学習会などの開催に向けた支援を行い、防災意識の向上を図る取組の支援ができている。また、区外の地域活動協議会から避難訓練の見学依頼があるなど、区の垣根を越えた交流ができおり、効果的な支援ができている。

## 5 現時点での支援の実施状況

項目	評価及び意見
(1)現時点での支援の実施状況(目標の進捗状況)	地域の自律運営に向けた的確な助言・指導ができており、研修や情報交換の機会の提供、個別の活動支援など、地域に寄り添いながら、各地域の実情に合わせた適切な支援を行うことで、地域からの厚い信頼を得ている。 地域運営にかかる共通課題である「人材不足の解消」「自主財源の確保」についても、具体的な解決策を示し、地域とともに検討することで、自発的に取り組める体制確保に向けた効果的な助言・指導が行えている。 今年度の目標である、ステージ2の10項目については、全て達成している地域はないものの、3地域が半分以上達成しており、概ね順調に進捗できている。今後も、ステージ2、3の達成に向け、効果的な支援を行うこと。

<p>(2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え</p>	<p>地活協が発足して4年目を迎える中、地活協としての活動が一定定着してきている一方で、地域によっては、長く地域活動に関わってきた地活協構成団体の役員等の中には、行政依存的な意識も強く、地活協に対しての理解が十分でない方も少なからず存在する。そして、そのことにより中堅・若手の担い手が地域活動について率直な意見を表明しがたい状況にあり、地活協の活性化の阻害要因になっている側面もある。今後、更に地活協の活動を充実・発展させるためにも、地活協としての活動の目的が、まず、地域課題の解決にあること、そのために人材や財源の確保が必要であるとの基本的な理解を、区役所と連携して、改めて説明が必要な方々に対して浸透させることに重点を置くこと。</p>
---------------------------------	--